

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。



①区の概況と課題

さいたま市防災カルテ

浦和区

◆区の概要

【位置】さいたま市の中南部に位置する。
【地形】大宮台地上にある。区北部の見沼区との境に芝川が流れている。
【土地利用】JR線沿線を境に西側にはオフィス街、東側には住宅街が広がる。
【交通】南北に国道17号、旧中山道などがあり、東西に国道463号が伸び、JR線の3駅がある。

◆全体図



◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	34ヶ所	消防署・出張所	3ヶ所	市役所・区役所	5ヶ所
一時避難場所	7ヶ所	警察署・交番	7ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	3ヶ所	応急給水場所	12ヶ所

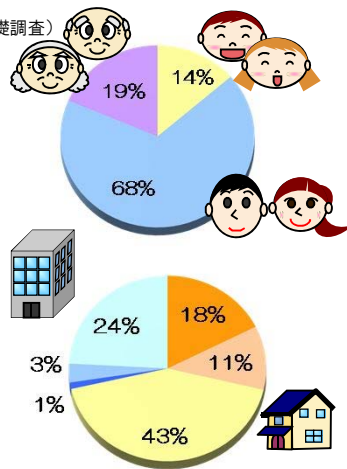
◆区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震
最大震度	6強 (6.3)	6弱 (5.9)	6強 (6.0)
最小震度	6弱 (5.9)	5強 (5.4)	5強 (5.2)
死者	676人	52人	26人
負傷者	1,376人	236人	188人
避難者	56,905人	5,442人	2,757人
全壊建物棟数	17,600棟	1,531棟	652棟
うち焼失棟数	15,328棟	1,400棟	520棟
半壊建物棟数	5,605棟	1,663棟	1,723棟

水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	610棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	311棟	0棟	0棟

◆区内人口・建物概況 (人口:平成22年国勢調査 (建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査))

人口等	項目	数値	割合
人口等	総人口	144,786人	
	0-14歳	19,717人	14%
	15-64歳	98,225人	68%
	65歳以上	26,844人	19%
	人口密度	12,551人/km ²	
建物	世帯数	61,994世帯	
	総建物棟数	33,132棟	
	木造(昭和46年以前)	5,821棟	18%
	木造(昭和47-55年)	3,688棟	11%
	木造(昭和56年以後)	14,164棟	43%
	非木造(昭和46年以前)	370棟	1%
	非木造(昭和47-55年)	1,081棟	3%
非木造(昭和56年以後)	8,008棟	24%	



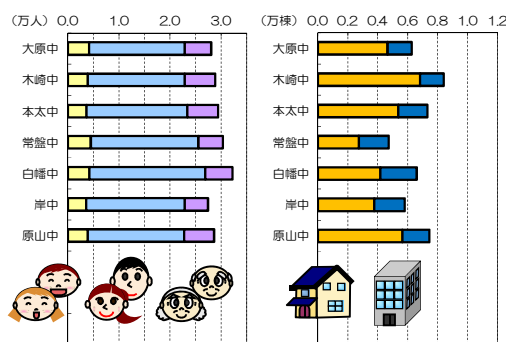
◆さいたま市直下地震と芝川・新芝川水害の被害想定結果

地震	大原中学校区	木崎中学校区	本太中学校区	常盤中学校区	白幡中学校区	岸中学校区	原山中学校区
最大震度	6強 (6.1)	6強 (6.1)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.2)
最小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)
死者(人)	99	184	222	29	71	105	157
負傷者(人)	224	322	389	139	222	235	321
避難者(人)	11,832	21,221	13,738	2,399	6,145	7,386	10,180
全壊建物棟数(棟)	3,586	6,977	4,247	549	1,361	1,987	3,208
うち焼失棟数(棟)	3,230	6,538	3,642	248	816	1,520	2,656
半壊建物棟数(棟)	1,085	1,347	1,328	719	1,190	1,016	1,283

水害	大原中学校区	木崎中学校区	本太中学校区	常盤中学校区	白幡中学校区	岸中学校区	原山中学校区
床上浸水建物棟数(棟)	465	19	0	0	0	0	169
床下浸水建物棟数(棟)	69	20	0	0	0	0	255

◆学区別人口・建物概況 (人口:平成22年国勢調査 (建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査))

学校区名	人口	建物棟数
大原中学校区	28,031人	6,280棟
木崎中学校区	28,829人	8,410棟
本太中学校区	29,392人	7,315棟
常盤中学校区	30,358人	4,739棟
白幡中学校区	32,193人	6,606棟
岸中学校区	27,434人	5,803棟
原山中学校区	28,600人	7,457棟



◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】**多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要。**
- 【火災】**火災焼失の危険性が高い地区となっており、延焼防止帯の設置や建物の不燃化等、**延焼防止策が必要。**
- 【避難】**避難者の割合が高いため、**避難施設の充実及び運営体制の確保が必要。**
- 【帰宅困難】**浦和駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留が想定される。**

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

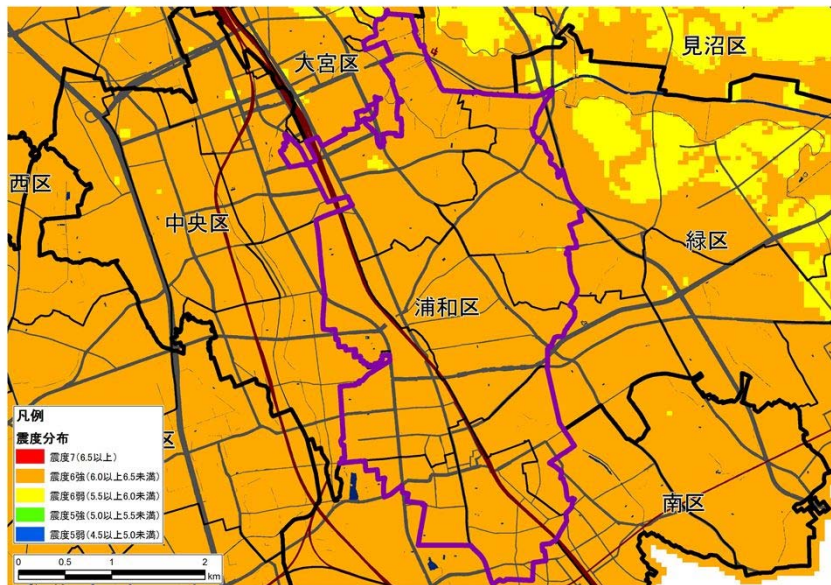
②さいたま市直下地震の想定

さいたま市防災カルテ

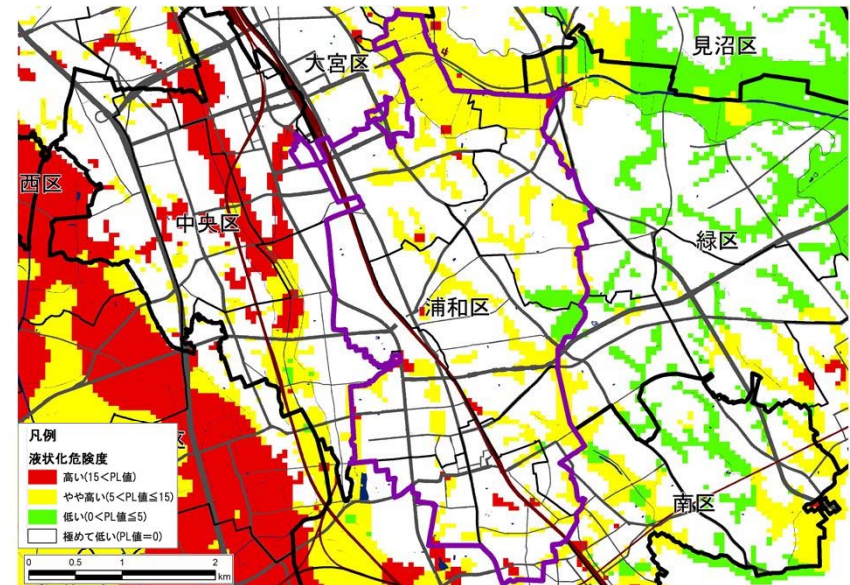
浦和区



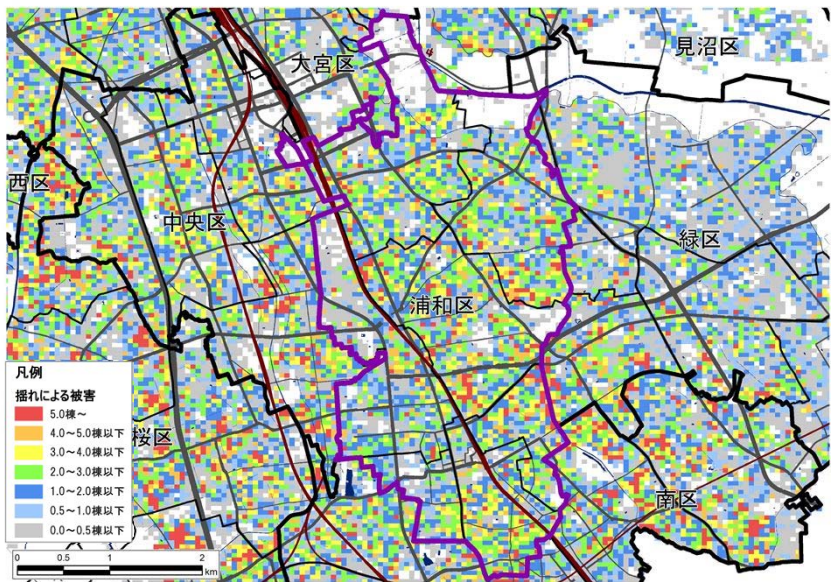
震度分布図



液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

